

# Festina lente



## Highlights

- ・第26回卒業式が行われる。
- ・卒業生アンケート結果公開!
- ・医・歯・薬・獣医に51名合格!
- ・APUコース生が元気に帰国!

第26回岩田高校卒業式 2014. 3. 1.

## 第26回卒業証書授与式が行われる。～卒業生105名～

第26回卒業証書授与式が行われる	1
第26回卒業証書授与式式辞 校長 柳井修	2
卒業生対象アンケート 教頭 児玉洋司	3
2014年度大学合格速報 進路指導主任 後藤慎太郎	4
カウンセリングルームより林智一 保健室より 養護教諭 野村めぐみ	6
生徒指導部より 生徒指導主任 阿部順三	7
研修旅行&修学旅行だより	8

3月1日(土)第26回卒業証書授与式が本校体育館で行われました。26回生の卒業生は105名(女子50名、男子55名)、このうち4期生となるAPU立命館コースは18名です。

式では君が代斉唱の後、生徒一人一人に柳井校長より卒業証書が手渡されました。また来賓の立命館アジア太平洋大学副学長山神進様と同窓会「樟友会」代表 野村威雄様から祝辞をいただきました。

このあと、在校生を代表し高校2年生の津村佳希君が送辞を、卒業生を代表して中城毅彦君が答辞を述べました。最後に全員で校歌を歌い、卒業生は拍手で見送られながら式場を後にしました。

### 表彰者

#### 《理事長賞》

安東 有紀、今井 つらら、神矢 真由、  
角田 賢太郎、田吹 成美、芝田 一樹  
(以上6名)

#### 《APU立命館コース優秀賞》

講武 ちひろ

#### 《皆勤賞》

北之園 育、清岡 美妃、古手川 愛実、  
後藤 妃奈子、三宮 憂貴、須川 華帆、

平岡 茉林、三浦 孝洋、香川 春奈、  
工藤 梨乃、日永田 彩和、岩本 卓也、  
辛島 良介、河野 万由子、口石 恵、  
兒玉 理奈、佐藤 雅、中城 毅彦、  
松本 滉平、望月 雅基、山本 優太、  
吉川 麻優、佐藤 祐輔、幸 香澄  
(以上24名)

#### 《知事賞》

角田 賢太郎

#### 《日本私立中高連会長賞》

平山 祐太

#### 《高校生新聞社賞》

佐藤 雅

#### 《各代表者》

(送辞) 津村 佳希  
(答辞) 中城 毅彦  
(記念品目録贈呈) 甲斐 雅也  
(保護者謝辞) 江藤 裕子 様

#### 《来賓》

立命館アジア太平洋大学 副学長 山神 進 様  
学校法人立命館一貫教育部副部長 田中英章 様  
岩田学園同窓会(樟友会)代表 野村威雄 様  
岩田学園保護者会副会長 下田稚子 様

平成25年度  
卒業証書授与式  
岩田高等学校



←理事長賞6名

→卒業生答辞  
中城毅彦君



→在校生送辞  
津村佳希君





## 第26回卒業証書授与式式辞 ～未来へ羽ばたく26回生へ～

校長 柳井 修



26回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。岩田高等学校は、本日ここに、平成25年度の卒業生 IWATAコース87名、APU立命館コース18名、計105名にたぐいま卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

本日ここに、第26回卒業式を挙げるにあたりまして、ご多忙中にもかかわらず、多数のご来賓の皆様方にご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

保護者の皆様には、今日までのこの18年間、様々なご苦労があったことと推察いたしますが、お子様を支え、育ててきたことに対して敬意を表するとともに、これまで本校に御協力、御支援いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

岩田で学んだものを糧に、希望に満ちて旅立たれる皆さんをお送りすることは、私も教職員にとって、最上の喜びであります。

さて、卒業式は、学校生活を思い起こし、在学中の様々な出来事を改めて振り返る機会でもあります。IWATAコース、APU立命館コースの生徒共々入学以来、学業はもとより、部活動や生徒会活動、学校行事に熱心に取り組み、本校の校風と伝統を受け継ぎ守ってきました。決して楽な日々ではなかったと思います。楽しかったことや辛かったこと、多くの思い出が、今の時でも、視線を移すたびによみがえって来るのではないのでしょうか。夏季研修、修学旅行、そして第30回学園祭。テーマは『ツナグ ～無限に広がる未来』そのパンフレットの冒頭には「今起きていることは無駄ではなく、必ず未来につながって

いく。今を大切に。そして未来を大切に。必ずすばらしい未来が待っている。」と書かれていました。私は開会式の時、このテーマは第30回という節目の学園祭にとってもふさわしいテーマだとみなさんに言いました。

長い人生これから多くの困難が君たちを待っているでしょう。どんなに努力をしても必ずしも成果に結びつくとは限りません。先日開催されたソチオリンピックフィギュアスケートショートプログラムで失敗した浅田真央選手のように。金メダルを取った羽生結弦選手でさえフリーでは満足のいくスケートができませんでした。恐らく二人とも国民の期待を背負い、物心ついたときから血の滲むような努力をしたはずで

。「失敗」という言葉はネガティブな響きがあり、できれば失敗をしたくないし、耳にもしたくないものです。しかし、スタンフォード大学のティナ・シーリグはシリコンバレーの強さの秘密の中で「早く何度も失敗せよ」と言っています。すなわち失敗から学ぶことが多く、学ぶものが大きいということです。反対に失敗の経験がない人は、それだけのリスクを避けているか、リスクをとっていないという考えが成立します。悪いパターンは、失敗したときの悪い面が多すぎて個人がリスクに対し過敏になり、リスクから遠ざかろうとしたり避けるようになってくることです。失敗を経験し成功も経験する中で、しっかりと深く学べるのであって、自分で挑戦しないで、やりもしないで学ぶことは不可能なのです。すなわち失敗の原因を分析し、それに対する対処方法を次へのステップとする思考回路、つまりポジティブな行動姿勢が人間力を磨くことになるのです。失敗をバカな失敗ではなく賢い失敗に変える能力、態度を身につけることが必要です。よって一つのことを成し遂げるにはパッション…つまり情熱と忍耐が必要です。

昔の言葉に『箸よく盥水（かんすい）を回す』という言葉があります。「盥」とは

「たらい」ともよみます。つまり「盥水」とは盥の中の水のことです。箸一本で盥水を回しても、箸しか回りません。ところが、その箸を根気よく熱心に回し続けていると、周囲の水が少しずつ回るようになります。さらに、諦めずに回し続けると、一段と大きな輪が広がります。私たちは何事も箸一本で盥水を回し始めて、回すことができないと直ぐに諦めてしまいがちです。大きな波を起こすには、根気よく熱心に行う努力が必要です。

私はみなさんに遠い目標と近い目標を立てなさいと全校集会などで言いました。遠い目標は「人生の夢」そしてその夢に向かって今日すべき近い目標を積み重ねるのです。最後に、大分県出身の社会教育家、後藤静香の『第一歩』と題する言葉を送ります。昨年の卒業式でも後藤静香の『本気』という詩を贈りましたが、その詩と同じくらい私の好きな言葉です。

### 『第一歩』

十里の旅の第一歩  
百里の旅の第一歩  
同じ第一歩でも 覚悟がちがう  
三笠山にのぼる第一歩  
富士山にのぼる第一歩  
同じ第一歩でも 覚悟がちがう  
どこまで行くつもりか  
どこまでのぼるつもりか  
目標が その日その日を 支配する

今日はゴールでありスタートでもあります。新たなる第一歩を踏み出そうとする君たち26回生。本校のモットーは「Festina Lente」「ゆっくり急げ」です。可能性を現実にする力は、君達の中にこの岩田で必ず培われています。

これから26回生諸君が、多くの人と出会い、高い目標に向かって成長し続け、新しい時代を切り開く原動力となっていくことを心から祈り、式辞といたします。

本日はご卒業、本当におめでとうございます。



↑知事賞  
角田賢太朗 君



↑APU立命館コース賞  
講武ちひろ さん



↑日本私立中高連会長賞  
平山祐太 君



↑高校生新聞社賞  
佐藤 雅 君



## 岩田でよかった96% 出会った友人良かった86%～卒業生対象アンケート～

Q 1. 岩田学園に入学してどのようなことがよかったと思いますか。(いくつでも可)		26回生				25回生	
		女	男	合計	%	合計	%
a	学習意欲・向上心がわいた点	23	29	52	51%	29	26%
b	公共心・礼儀がついた点	12	19	31	31%	21	19%
c	出会った先生	36	42	78	77%	56	51%
d	受け持たれたクラス担任	20	31	51	50%	29	26%
e	卒業後の進路	18	21	39	39%	31	28%
f	生活指導	1	10	11	11%	8	7%
g	部活動などの課外活動	25	29	54	53%	44	40%
h	学園祭などの学校行事	32	45	77	76%	83	75%
i	出会った友人	40	47	87	86%	90	82%
j	寮での生活(寮生11名)	1	7	8	8%	10	9%
k	通学時間・距離	7	10	17	17%	20	18%
l	その他	23	29	52	51%	29	26%
Q 2. 岩田学園に入学してどのようなことが悪かったと思いますか。(いくつでも可)		26回生				25回生	
		女	男	合計	%	合計	%
a	学習意欲・向上心がわかなかった点	4	7	11	11%	7	6%
b	公共心・礼儀がつかない点	2	1	3	3%	1	1%
c	出会った先生	1	4	5	5%	11	10%
d	受け持たれたクラス担任	1	3	4	4%	5	5%
e	卒業後の進路	3	4	7	7%	3	3%
f	生活指導	3	3	6	6%	11	10%
g	部活動などの課外活動	3	5	8	8%	2	2%
h	学園祭などの学校行事	3	1	4	4%	3	3%
i	出会った友人	1	1	2	2%	3	3%
j	寮での生活	0	1	1	1%	2	2%
k	通学時間・距離	12	8	20	20%	26	24%
l	その他	4	7	11	11%	7	6%
Q 3. 総じてこの学校に来てよかったと思いますか。		26回生				25回生	
		女	男	合計	%	合計	%
a	思う	35	44	79	78%	77	70%
b	まあまあ思う	11	7	18	18%	30	27%
c	まあまあ思わない	2	1	1	3%	2	2%
d	思わない	0	1	1	1%	1	1%
Q 4. この学校に入学することを親戚や知り合いの子供に勧めますか。		26回生				25回生	
		女	男	合計	%	合計	%
a	思う	25	25	50	50%	33	30%
b	まあまあ思う	17	25	42	42%	57	52%
c	まあまあ思わない	6	0	6	6%	13	12%
d	思わない	0	3	3	3%	7	6%
Q 5. 自分に子供ができれば本校に入学させたいと思いますか。		26回生				25回生	
		女	男	合計	%	合計	%
a	思う	16	24	40	40%	25	23%
b	まあまあ思う	21	21	42	42%	49	45%
c	まあまあ思わない	10	4	14	14%	24	22%
d	思わない	0	4	4	4%	12	11%

2月28日(金)卒業式前日に卒業生(105名)を対象にアンケートを実施しました。受験による公欠などの生徒を除いた101名の生徒が回答しました。それによると、「岩田がよかったと思う・まあまあ思う」が96%、これは昨年度と同様でとても高い値です。その理由として「**出会った友人(86%)**」「**出会った先生(77%)**」「**学園祭などの学校行事(76%)**」があげられました。また、「自分の子どもを岩田へ入学させたいか?」では、過去最高の数値となりました。男女別データや過年度との比較は左表をご覧ください。

もちろん、「良かったと思う＝授業が良かった＝満足している」などと安易に結びつけず、真摯に今後の学校運営へといかにしていきます。今後ますます卒業生の満足度の高い学校になるように努力してまいります。

(教頭 児玉洋司)



→ 来賓  
山神進様  
APU 副学長



← 来賓  
野村威雄様  
同窓会代表



← 保護者代表謝辞  
江藤裕子様



→ 記念品目録贈呈  
甲斐雅也君

# 2014年度大学合格速報 ~3月15日現在~ 26回生105名

岩田高校

## 国公立大22名合格、大分大医学部医学科に4名合格！ 医・歯・薬・獣医に計51名の合格！（ただし、看護・医療系を除く）

3月6日から10日にかけて、国公立大学前期試験の合格発表が行われました。現時点で判明しています本校の大学合格者数についてご報告いたします。

まず国公立大学ですが、大分大学（医・医）の4名をはじめ、神戸大学、九州大学、熊本大学、長崎大学等、今日現在判明している段階で、国公立大学の合格者数は、現役生が9名、既卒生が13名の合計22名でした。

本校では、定員が少ない後期試験において10名以上の合格者が出る年度がよくあります。これは、最後の最後まで全

力で取り組むという指導のもと、前期試験が終わった直後から、また卒業式を終えた後でも、後期試験に備えて多くの生徒たちが進路指導室などに集まり必死に取り組む伝統があるからです。

26回生も、諸先輩にならって、懸命に努力を重ねていましたので、今後の吉報も期待出来るものと思っています。

一方私立大学でも、慶応大学に1名、早稲田大学に8名、東京理科大に4名など最難関大学に多数の合格者をだすことが出来ました。

また、MARCH(明治大・青山学院

大・立教大・中央大・法政大)や関関同立(関西大・関西学院大・同志社大・立命館大)にも多くの合格者をだすことが出来ました。この結果、今日現在、私立大学の合格者数は202名(昨年比+30)となっています。

これらは、現役生である26回生の取り組み、既卒生の頑張り、そして保護者の皆様の応援によるものです。

最後になりましたが、後期試験の結果などを含めた今年度の最終的な集計データは、新年度の『樟風』などでご報告させていただきます。予定です。

### 国公立大学

- 岩手大 (農 共同獣医)
- 福島大 (人文社会 行政政策)
- 神戸大 (農 応用生命)
- 広島大 (教育 技術)
- 山口大 (理 物理情報)
- 山口大 (理 生物化学)
- 山口大 (共同獣医 獣医)
- 九州大 (工 機械航空)
- 九州大 (工 物質科学)
- 九州歯科大 (歯 口腔保健)
- 長崎大 (工 電気電子)
- 大分大 (経済)
- 大分大 (工 システム工)
- 大分大 (工 電気電子)
- 大分大 (医 医)
- 大分大 (医 医)
- 大分大 (医 医)
- 大分大 (医 医)
- 大分大 (医 看護)

- 熊本大 (教育 養護教育養成)
- 熊本大 (医 保健看護)
- 熊本大 (薬 薬)

### 私立大学

- 酪農学園大 (獣医 獣医)
- 酪農学園大 (獣医 獣医)
- 国際医療福祉大 (福岡 言語)
- 国際医療福祉大 (薬 薬)
- 亜細亜大 (法 法律)
- 麻布大 (獣医 獣医)
- 北里大 (獣医 生物環境)
- 北里大 (医 医)
- 慶應義塾大 (理工 学門3)
- 恵泉女学園大 (人間 現社)
- 駒澤大 (法 法律)
- 駒沢女子大 (人文 国際文化)

- 昭和大 (歯 歯)
- 昭和大 (薬 薬)
- 昭和薬科大 (薬)
- 成城大 (法)
- 成城大 (文芸 マスコミ)
- 専修大 (経済 経済)
- 専修大 (人間 社会)
- 専修大 (法 法律)
- 中央大 (法 法律)
- 中央大 (理工 情報工)
- 津田塾大 (学芸 英文)
- 津田塾大 (学芸 国際関係)
- 帝京大 (福岡医療 理学療法)
- 帝京大 (福岡医療技術 看護)
- 帝京平成大 (地域医 理学療)
- 東海大 (工 原子力工)
- 東京女子大 (現代教養 国際)
- 東京薬科大 (薬 薬)
- 東京理科大 (経営)
- 東京理科大 (経営)
- 東京理科大 (基礎工A 材料)
- 東京理科大 (基礎工 電子応)

- 東洋大 (社会 社会福祉)
- 日本大 (法 法律)
- 日本大 (経済 経済)
- 日本大 (文理 化学)
- 日本大 (文理 物理生命シス)
- 日本大 (工 電気電子工)
- 日本大 (生物資源 獣医)
- 日本大 (歯 松戸歯)
- 日本歯科大 (歯 歯)
- 日本社会事業大 (社会 福祉)
- 日本獣医生命科学大 (獣医)
- 日本女子大 (文 英文)
- 日本女子大 (理 物質生物)
- 法政大 (社会 社会政策)
- 法政大 (国際文化)
- 法政大 (デザイン工 建築)
- 法政大 (理工 機械工)
- 星薬科大 (薬)
- 武蔵野大 (人間 社会福祉)
- 明治大 (政治経済 経済)
- 明治大 (農 食料環境政策)
- 明治学院大 (社会 社会福祉)



立教大 (社会 社会)	立命館大 (政策科 政策科)	広島国際大 (看護 看護)	活水女子大 (健康生活 食生)
早稲田大 (法)	立命館大 (文 人文)	広島文化学園大 (看護 看護)	<b>長崎国際大 (薬)</b>
早稲田大 (政治経済)	立命館大 (文 人文)	広島文化学園大 (看護 看護)	A P U (アジア太平洋)
早稲田大 (商)	立命館大 (情報理工)	福山平成大 (看護 看護)	A P U (アジア太平洋)
早稲田大 (文)	立命館大 (生命科 生命医科)	宇部フロンティア大 (人間健 看護)	A P U (アジア太平洋)
早稲田大 (教育 数学)	立命館大 (生命科 生命医科)	四国大 (看護 看護)	A P U (アジア太平洋)
早稲田大 (先進理工)	立命館大 (理工 環境シス)	九州産業大 (情報 情報)	A P U (アジア太平洋)
早稲田大 (先進理工 電気情)	立命館大 (理工 ロボティク)	久留米大 (文 心理)	A P U (アジア太平洋)
早稲田大 (基幹理工 学系 I)	立命館大 (理工 機械)	久留米大 (医 看護)	A P U (アジア太平洋)
<b>神奈川歯科大 (歯 歯)</b>	立命館 (情報理工)	西南学院大 (法 法律)	A P U (アジア太平洋)
<b>鶴見大 (歯)</b>	<b>立命館大 (薬 薬)</b>	西南学院大 (法 法律)	A P U (アジア太平洋)
<b>横浜薬科大 (薬 漢方薬)</b>	<b>立命館大 (薬 薬)</b>	西南学院大 (文 外国語)	A P U (アジア太平洋)
諏訪東京理科大 (経営情報)	<b>立命館大 (薬 薬)</b>	西南学院大 (人間 児童教育)	A P U (国際経営)
京都女子大 (文 史)	関西大 (社会 社会)	西南女学院大 (看護)	A P U (国際経営)
京都造形芸術大 (芸術 デザ)	関西大 (社会 社会)	西南女学院大 (看護 看護)	A P U (国際経営)
<b>京都薬科大 (薬)</b>	関西大 (政策創造 政策)	西南女学院大 (看護 看護)	A P U (国際経営)
同志社大 (経済)	関西大 (環境都市工 エネル)	日赤九州国際看護大 (看護)	日本文理大 (工 機械電気工)
同志社大 (経済)	近畿大 (生物理工 遺伝子工)	日赤九州国際看護大 (看護)	九州看護福祉大 (看護 口腔)
同志社大 (心理 心理)	近畿大 (法 法律)	日赤九州国際看護大 (看護)	九州看護福祉大 (看護福祉)
同志社大 (生命医 医生命)	<b>近畿大 (薬 創薬)</b>	日赤九州国際看護大 (看護)	九州看護福祉大 (看護福祉)
同志社大 (スポーツ健康)	<b>近畿大 (薬 創薬)</b>	福岡大 (法 法律)	崇城大 (情報 情報)
明治国際医療大 (看護 看護)	近畿大 (理工 生命科)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	崇城大 (生物生命 応用生命)
立命館大 (法 法)	太成学院大 (人間 人間心理)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	崇城大 (生物生命 応用生命)
立命館大 (法 法)	太成学院大 (人間 人間心理)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	崇城大 (工 機械工)
立命館大 (経済)	太成学院大 (人間 人間心理)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	崇城大 (工 建築)
立命館大 (経済 経済)	関西学院大 (法 法律)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	<b>崇城大 (薬 薬)</b>
立命館大 (経済 経済)	関西学院大 (人間福祉 人間)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	九州保健福祉大 (保 作業療)
立命館大 (経済 経済)	神戸海星女子学院大 (心理)	<b>福岡大 (薬 薬)</b>	<b>九州保健福祉大 (薬 薬)</b>
立命館大 (経済 経済)	<b>神戸学院大 (薬)</b>	福岡大 (理 化学)	<b>九州保健福祉大 (薬 薬)</b>
立命館大 (経営 経営)	<b>神戸学院大 (薬)</b>	福岡大 (理 化学)	<b>九州保健福祉大 (薬 薬)</b>
立命館大 (経営 経営)	<b>兵庫医療大 (薬 医療薬)</b>	福岡大 (理 化学)	
立命館大 (経営 国際経営)	<b>武庫川女子大 (薬 薬)</b>	福岡大 (理 物理)	
立命館大 (経営 国際経営)	奈良大 (文 史)	福岡大 (工 電気工)	
立命館大 (映像 映像)	岡山理科大 (理 化学)	福岡大 (工 電気工)	
立命館大 (国際関係 国際関)	吉備国際大 (保健医 作業療)	福岡大 (工 機械工)	
立命館大 (産業社会 現代社)	吉備国際大 (保健医療 看護)	福岡大 (医 看護)	
立命館大 (産業社会)	広島国際大 (リハ 作業療)	福岡大 (医 看護)	

### 文科省所管外の大学校

防衛大学校 (理工)



## 『人生の夏休み』

書名は忘れてしまいましたが、大学生のころに読んだある書物の中に、「大学時代は人生の夏休み」ということばがありました。そのことばを見て私自身、「たしかに大学時代はとても自由で開放的な気分浸(ひた)れる、まさに人生の夏休みだなあ」とつくづく実感したのを覚えています。

大学では、教養科目はもちろん、専門科目にも選択科目が多く、基本的に自分の興味関心によって授業を取れます。授業の取り方によっては、登校しなくても良い日があるなど、時間的にも自由です。

また、大学生にもなれば、周囲からの干渉も少なくなります。保護者や先生がたも、口うるさく生活態度について注意するとか、「勉強しなさい」などとはおっしゃいません。成績を逐一(ちくいち)、保護者に報告する、などということも、ふつうの大学生はしなないでしょう。(ただし、昔と違って最近では、出欠状況や成績を保護者に送付する大学も増えてきています)。

さらに、社会におけるさまざまな義務や責任も、大学生は猶予(ゆうよ)されることが多いものです。たとえばアルバイトなどしているも、多少の失敗は「学生さんだからしょうがないね」ということで許容してもらえたりします。

中学・高校のような勉強のプレッシャーはなく、社会人のように重い責任を負(お)うこともなく、その中間でふわふわと漂っているような時代ですね。こう

して見ていくと、本当に「大学時代は人生の夏休み」だと思います。

中学・高校の生徒のみなさまの中には、「大学生は自由で、遊んでばかりいて、うらやましい。自分も大学生になったら遊ぶぞ!」などと思っていられしやるかたもあるかもしれません。しかし、夏休みには「宿題」がつきものです。人生の夏休みにも、さまざまな宿題が課されています。

大学時代は、専門的な学問の修得はもちろんのこと、広く常識や教養、人間関係のスキルを身につけて、良き社会人となるための準備をする期間でもありません。それが「人生の夏休みの宿題」のひとつです。大学時代は自由ですが、それは「責任」と表裏一体(ひょうりいつたい)です。たとえば、勉強しないのも自由ですが、勉強しなければ大学では単位が取得できず、進級できなかつたり、卒業できなかつたり、希望の職に就(つ)けなかつたり…といった事態を招くこととなります。それも自己責任です。誰も「勉強しなさい」と、お尻を叩いたりはしてくれませんが、他人のせいには出来ません。大学では、自(みづか)ら主体的、能動的に学ぶことが求められるのです。

さきほど述べたように、社会がいろいろな義務や責任を猶予してくれるのは、「大学時代は良き社会人となるための試行錯誤の期間だから、多少の失敗には目をつぶってあげよう」という考えがあってのことです。そのための努力を放棄し

て、社会の与えてくれるさまざまな猶予を悪用していたのでは、大学時代はまったく無意味なものとなってしまいます。

残念ながら、周囲がいくらがんばっても、このように大学時代を悪用する学生を“まっとうな大学生”に育てるのはなかなか困難なことです。なぜなら、こういう問題は、本人がその気にならなければ、どうしようもないからです。

逆に、学生自身が自分で「何とかしなければ…」と気づきさえすれば、ほとんどの大学にはチューター制度(担任の先生のようなもの)や保健管理センター

(医師やカウンセラーが主に心身の健康問題を中心に、相談ののってくれる機関)、学生相談室(カウンセラー、ソーシャルワーカー、職員などが主に学生生活を中心に、相談ののってくれる機関)など、複数の学生支援のための資源が用意されていますので、豊富な援助を得ることが出来ます。それらを活用して、軌道修正していく学生もたくさんいます。

さて、この春、高校を卒業して大学に進学されるかた、浪人して大学を目指されるかた、これから進学の準備を始めるかたなど、いろんな生徒さまがいらっしゃることでしょ。なんのために大学に行くのか、自分にとって大学とは何かということについて、よく吟味していただきたいと思います。そして、みなさまが大学時代を有意義に過ごされて、「人生の夏休みの宿題」をやり残すことがないように、祈っています。

## 29回生WYSHプロジェクト

### 養護教諭 野村めぐみ

●テーマ: 「大切にする」

●授業担当者: 野田教諭・野村(め)教諭  
今年度最後のWYSH授業を行いました。1時間目は「性感染症(エイズ・クラミジア)に関する学習」、2時間目は「関わる全ての人を大切にする」ということでグループワークを行いました。

グループワークでは、他人に気持ちを伝える具体的な場面を設定し、それぞれの立場での気持ちや伝え方を真剣に考え前向きに取り組むことができました。

29回生の皆さんが健康で幸せな毎日が送れますようにと心から願っています。自分を大切に、そして関わる全ての人を大切に……。最後まで真剣に受講した29回生の皆さん、本当にありがとうございました。

～生徒の感想(抜粋)～

- まだ人生の半分もたっていないけど、色々な事を考えさせられたり、色々なことを振り返り大人に近づいたなあと感じました。相手のことを思いやり、健全な大人になって人生を楽しみたいと思います。
- まず、性病には気をつけなければならぬことを知った。このことはこれから先大

切になってくると思う。次に他人のことは大切にしなければならぬと思った。決して自分だけのことを考えず相手のことを踏まえて行動しなければならぬことが大切だと感じた。YOUメッセージではなく、Iメッセージを使う。3の1の動画を作ってくれたことを感謝します。

●すっごく感動しました。中1～中3までいろんなことがありました。卒業といってもまた同じけど「ふしめ」をきちんとしたいと思います。今まで仲良くしてくれたみんなにありがとう。そしてこれからもよろしくという気持ちでいっぱいです。自分で素直にこの言葉を伝えられたらいいと思いました。

●1限目は人生の中で一番大切といっても過言ではない事を教わり、自分が防ぐことも起こすこともできる怖さというものがあった。自分を大切にするのももちろんだがそれに+αして人を思うことの大切さも学んだ。2限目はとても男女の考えが違うことに驚いた。双方の考えを受け入れて共生していく事の大切さを学んだ。最後のビデオは驚きだった。なんか退寮式のような気分になった。先生方に感謝しつつ高3の

保健室から・あいかとう!



卒業の時にもっとすごい動画ができていることを期待しています。



## 春季休業中の生徒心得

3月25日(火)から4月7日(月)まで春季休業となりますが、長い休みではありませんが、新年度に向けて自己を見つめ直す絶好の機会です。新学年での自分の目標を立てて、その実現に向け計画を実行しましょう。以下に生活心得を示しますので確認しておいて下さい。

### 1.家庭での生活について

- (1) 1日の生活時間の計画を立てて、規則正しい生活を送りましょう。
- (2) 健康管理に注意しましょう。また、虫歯や疾病などの治療を休み中に行いましょう。
- (3) 積極的に読書の時間を見つけ、幅広い教養を身につけましょう。

### 2.学習について

- (1) 1年間の学習について反省し、不得意教科については、その学習内容を十分復習して新学期に備えましょう。
- (2) 各教科から出されている課題を計画的に進め、始業日に全教科提出しましょう。
- (3) 4月17日(水)、18日(木)に実力考査を実施します。

### 3.交通安全・公共マナーについて

- (1) 交通ルールを遵守し、事故に遭わない・起こさないようにしましょう。もし、事故に遭ったり・起こしたりした場合はそれが小さな事故でも必ず警察に通報すること。相手の名前や連絡先、車の場合はナンバーや車種・色を確認すること。あわせて学校・担任にも連絡して下さい。
- (2) 自転車の二人乗り、並進、傘差し運転、信号無視等絶対にしてはいけません。また、自転車運転中に携帯電話の使用や画面の注視は禁止。大音量で音楽を聴くことやヘッドホンなどを使用しながらの運転も禁止で

す。違反者には5万円以下の罰金が科せられます。

- (3) 自転車は防犯登録をし、必ず**施錠(2ロック)**するようにしましょう。
- (4) 自転車は所定の場所に駐輪し、決して点字ブロックや歩行者の邪魔になるような場所には留めないようにしましょう。また、**トキハ前道路(中央通り)の歩道は駐輪禁止**となっています。
- (5) J R・バスの中、公共の施設ではマナーや施設の規則を守り、他の人に迷惑にならないようにしましょう。特に、J R・バスでは高齢者や身体の不自由な人には積極的に席を譲りましょう。
- (6) 運転免許の取得や無免許運転をしてはいけません。

### 4.校外生活について

- (1) 外出について
  - ・外出の際は必ず家の人に行き先、用件、帰宅時間を知らせておくこと。
  - ・外出の際の服装は制服または清楚なものとし、必ず身分証明書を携帯すること。
  - ・夜間外出については、中学生は19時まで、高校生は21時までとする。なお、女子については、日没後の外出を慎むこと。
  - ・深夜(午後11時～翌日の午前4時)の青少年の単独、もしくは集団での徘徊は「青少年のための環境浄化に関する条例」で補導対象となります。保護者同伴であっても許可されません。
  - ・次にあげる場所は生活指導上好ましくないので保護者同伴でない限り**立入禁止**とします。喫茶店・カラオケボックス、インターネットカフェ(飲酒・喫煙を伴う恐れのある場所)・ゲームセンター・ゲームコーナー(高額の金銭負担に

つながる遊技場)など。また、日没後、公園、寺社やその境内、墓地には立入禁止です。

- (2) 部活動・練習試合等・自主登校について
  - ・普段の登校と同様、制服、体操服、部でそろえたもので登校し、貴重品に関しては必ず、部の顧問、担任に預けること。
  - ・自転車も許可されている生徒のみで、携帯電話は持ち込み禁止(許可者でも校内での使用は禁止)。他校への練習試合などでも同様です。
- (3) 旅行・登山について
  - 旅行や登山などを行うときは、必ず保護者の同意を得て、事故が無いようにつとめましょう。
- (4) 補導を受けたとき
  - 万一、警察官・補導員より補導を受けた場合は、身分証明書を提示し素直な態度をとること。
- (5) アルバイトは禁止です。
- (6) 飲酒・喫煙・窃盗・万引・薬物乱用などの反社会的行動はしてはいけません。

### 5.インターネットなどについて

- (1) 最近ではインターネットでの出会い系サイトなどの有害情報によるトラブルや犯罪にあう被害が急増しています。パソコンや携帯電話などでのそのようなサイトの利用を禁止します。また、保護者の方は必ずフィルタリングをかけて下さい。また、かけたフィルタリングをはずすことがないようにお願いします。(詳しくは携帯電話各社にお問い合わせ下さい。)
- (2) インターネット上の掲示板・ブログ・プロフなどに他人に対して誹謗・中傷を決して書き込んではいけません。

## 『高校生 カギかけグランプリ in OITA』で、岩田高校が2年連続で第一位！

「安心・安全な町づくり」の一環として、自転車盗被害抑止及び防犯意識の高揚を目的に、平成25年10月1日～26年1月31日までの4ヶ月間、大分市内の中央署・南署・東署管内の高校21校で開催されました。そして「盗難被害率が低いこと＝防犯意識の高さ」という評価において、本校は「自転車盗難0件」で、第一位となりました。

表彰式は、2月23日(日)に、大分中央警察署大会議室にて、中央警察署長並びに南署・東署の刑事官、生活安全課長が主催者として、「犯罪の起きにくい社会づくり」協定企業のジェイリース社長が来賓として列席されました。

自転車盗難や自転車の交通事故は中・高校生が約半数以上を占め、特に高校生の運転マナーにつ

いては問題点も多く指摘されています。

道路交通法では、自転車は自動車と同じ「車両」なのでルールを守らず事故を起こすと責任を問われます。「安全不確認(急な進路変更)」「一時不停止」「信号無視」「歩道上での歩行者との接触(歩行者優先)」が自転車事故の主なパターンとなっています。特に人身事故では、被害の大きさにより、未成年者でも高額の賠償金を支払わなくてはならない場合があります。防犯や安全運動についてのお話はご家庭でも話題にされ、注意を促していただきたいと思えます。

生徒指導部は、今後も自転車防犯→命を守るという認識で、マナーアップや交通安全運動に積極的に取り組んでいきます。



↑ 表彰式の様子  
生徒会長 草地千晃 君  
指導主任 阿部順三 教諭

**4月は提出物や学校行事が多い月になります。  
何事もスタートが肝心、充実した春休みにしましょう！  
輝ける未来に向かって、明るく元気に進みましょう！**

## APU立命館コース研修旅行・修学旅行、元気に帰国！

↓4年4組のみんな



3月11日(火)朝6時に学校を出発。福岡空港から約1時間のフライトで12時頃仁川空港に到着。そこでTA2名や現地のJTB職員と対面し、2グループに分かれて研修を開始しました。ホテルのあるカンヌンまでは各自で移動。地下鉄やバスを乗り継ぎ、迷った時は現地の人に韓国語で尋ねて道を教えてもらいながら、全員元気に20時頃ホテルへ到着。

2日目は烏竹軒(オジュクコン)博物館でお札の肖像になっている儒学者の栗谷(ユルゴク)の生家や先史時代の遺物などを見学し、徒歩でカンヌン大学へ移動。早速フィールドリサーチを開始。韓国語で大学生にアンケートを依頼するも、「急いでいるから…」と断られることある生徒もいました。しかし、慣れてくると皆、積極的に大学生に声をかけていました。夕食はボリュームたっぷりのブルコギを堪能しました。



最高のサービスと言われるシンガポール航空に乗って、チャンギ空港に着きました。シンガポールでは、まず、国花である蘭が多くある植物園に行きました。熱帯でしか見られない珍しい植物を見ることができました。また、ずっと楽しみにしていたマーライオンも見に行きました。マリーナ・ベイ・サンズとの景色はとても美しく、チャイナ・タウンでは、お土産を買いました。更に夜はナイトサファリ。火を噴くパフォーマンスに興奮しながら、トラムで動物をすぐ近くで見て、生徒はとても満足していました。

3日目は班に分かれて、この旅行のメインであるフィールドリサーチを行いました。APU講座の授業内で考えてきた調査テーマ(「音楽」「進路」「ポイ捨て」)に沿って、英語によるアンケートを行いました。中には、乗り方も教えていない地下鉄に自分達で乗り学校を目指し移動したり、地元の生徒達と仲良くなってお互いにアンケートをしたりと、昨年に増して遅しく、とても頼もしかったです。どのグループも50~80枚のアンケートを無事に集めることができました。

4日目に、チャンギ空港からベナン空港へと移動。マレーシアでの4日間のホームステイの開始です。手つかずの自然のある村での暮らしに、最初、生徒はとまどっていましたが、伝統的な魚釣り、お菓子作りや遊びを通して、自分達とは違う文化に親しんでいきました。高校訪問では、日本人の訪問が初めてだったらしく、熱烈な歓迎を受け、特に男子はモチモチでラブレターをもらう生徒もいました。また、最後のサヨナラパーティでは、伝統的な結婚式を体験してもらい、みんなで踊って盛り上がりました。ホストファミリーから優しくして頂き、別れのときには泣く生徒がたくさんいました。今回の修学旅行での貴重な体験を、必ず今後の人生にいかしてくれと信じています。(矢野裕)

3日目はTA2名の案内でソッチョへ向かいました。到着後、渡し船「ケッペ」(イカダに似た乗り物)で川を渡り、アバイ村に入村。村には北朝鮮の風習や食べ物が残っているそうです。昼食には村で人気のあるスンデ(イカのお好み焼きに似た食べ物)を食べました。昼食後は花津浦(ファジンゴ)へ。雪山や海のとてもきれいな場所でした。

4日目はソウルへ移動し、「昼食ビビンバ→慶福宮→南大門市場→南山ゴル韓屋村→明洞→夕食しゃぶしゃぶ」という行程でソウルを満喫しました。夕食時に、お世話になったTAとお別れ会を行いました。研修旅行を通して、日々柔軟にそして遅しく行動していく生徒の様子を見て、とても頼もしく感じました。また国際交流に興味を持ち、外国語学習に意欲を見せる生徒が出てきて、意義ある研修になりました。今後はフィールドリサーチで養った積極性をぜひ学校生活で生かしてほしいです。(伊藤)

↓5年4組のみんな



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

**能力の差は小さいが  
努力の差は大きい**

**脚力尽くる時、山更に好し。  
輝ける未来へ、全力でサポートします!**



March 2014 edition

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

**岩田中学校・高等学校**